



特別講演の概要

開催日時 2021年3月14日（日） 13:30:～14:30

講師 東海旅客鉄道株式会社 相談役 須田 寛

テーマ オープン10周年を迎えて、今、想うこと

概 要

【館長の天野より冒頭で挨拶】

- おかげさまで10周年を迎えることができ感謝申し上げます。初年度105万人。累計532万人のお客様にご来館いただいた。昨年度は40万人、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館、外出自粛等の影響により本年度は12万人と見込んでいる。
- 11年目からも、お客様にはご満足いただけるよう、展示の充実に加えてガイドツアーや体験型などの各種イベントも開催していきたい。
- 2019年7月、ホジ6014号蒸気動車（以下、「ホジ」という）が国の重要文化財に指定された。ホジの企画展も開催しているので、相談役の須田の講演とあわせてご覧いただければ幸いです。

【相談役の須田の講演概要】

相談役の須田より「オープン10周年を迎えて、今、想うこと」と題して、以下の話がありました。

- 早いもので開館して10年、皆様のご愛顧に心から感謝申し上げます。
- 展示部の中で、機関部と客車部が一体となったホジの文化的価値は特に高く、「ホジとの出会い」が鉄道の博物館を作る大きなきっかけとなった。
- 国鉄に返還されたホジは、以前名鉄が運営する明治村に展示されており、いつか名古屋に鉄道博物館を作って、展示したいと思っていた。
- JR東海発足後、中部天竜駅に「佐久間レールパーク」を開設し、車両展示を始めたが、同地は気温の変動が激しく、特に冬季は車両の痛みが激しいので、休館せざるを得ない等の問題があった。
- その後、名古屋市から土地の提供の申し出をいただき、「リニア・鉄道館」を金城ふ頭に開設。晴れて明治村よりホジの移設を受けることができた。
- ホジ等の保存すべき車両について、文化庁に文化財指定等を要望してきたこと等もあり、2019年に国の重要文化財に指定された。
- 車両保存のためには、以下の2つが重要。
 - 「国の文化財指定等公的保存の対象とする」→重要文化財の指定等
 - 「保存施設へ収蔵する」→鉄道の博物館の建設等
- 鉄道の車両・施設は文化財であると同時に人的交流を担うことによって、文化の原動力であるとも考えられる（車両は人間の「心」を運ぶとともに、人間の「わざ」の結集）
- 博物館10周年は私にとって大変感慨深いものがある。



以上